

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

[illegible]

カ テ ゴ リ	非 該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
18	☐	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001取得済。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	☐	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	基本的には社内開示のみであるが、顧客要求により情報開示を行っている。												12.6					
20	☐	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	太陽光パネルを設置利用している。							7.2						13				
21	☒	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	天然資源の未使用のため非該当(利用予定も無し)												12.2	13	14	15		
22	☐	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に記載し周知している。																16 16.5	
23	☐	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	自社CSR推進ガイドブックに不正競争行為の禁止に関して記載し周知している。																16	
24	☐	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	製品について、知的財産保護の対象となるものはないが、他社の知的財産権を侵害しない旨を自社CSR推進ガイドブックに記載し周知している。								8.2 8.3	9								
25	☐	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	「個人情報に関する基本方針」を策定している。 個人情報に関するデータについては、インターネットに接続していないパソコンにて管理し、外部への流出を防ぐ対策を実施している。																16	
26	☐	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社製品の原材料サプライチェーンを把握している。																16	
27	☐	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応をしていく。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	☐	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品の安全性については、顧客指示に基づく製造のため仕組みが構築されている。その他の安全性については各部の会議においてリスクの洗い出しをし対応している。			3.9									12.4					
29	☐	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO9001取得済。 顧客からのクレーム対応等、品質を保証する仕組みは品質保証部が窓口となって対応している。									9								
30	☐	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	廃プラスチック削減のため、不良品の削減、材料効率の良い製造方法(金型設計)に取り組んでいる。						6						12	13	14	15		
31	☐	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	廃プラスチック削減のため、不良品の削減、材料効率の良い製造方法(金型設計)に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
32	地域貢献・社会貢献	☐ 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	高校生、中学生の職業体験学習受入、会社見学等を積極的に行うことで事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている。				4					9		11	12		14	15		17
33		☐ 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域清掃ボランティアの実施、自動販売機の売上の一部を子ども食堂へ寄付、職業体験学習や会社見学等の受入を積極的に行い地域への貢献を行っている。				4							11			14	15		17
34		☒ 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域資源の利用なし								8	9		11	12	13				
35	組織体制	☐ 【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化している(会社案内、HP) 毎月の朝礼、会議等で経営者が経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している								8	9								17
36		☐ 【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	ISOの法令遵守要求に則つとり体制・仕組みを構築し、朝礼等で改正内容の周知、法令遵守の必要性を説明し、全社で共有している																16	
37		☐ 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	責任者(担当役員)、CSR管理者(総務部長)を任命している。																16	
38		☐ 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーとの対話により、自社活動が及ぼす影響把握し適切に対応している																16	17
39		☐ 【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスクの洗出しを行い、評価を行った上で必要な対策を講じている(各部会議、安全衛生委員会、経営会議等)																16	
40		☐ 【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	CSR推進ガイドブックを作成、配布の上、朝礼等も活用し全社に周知している。																16	
41		☐ 【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	年1回、避難訓練や消火訓練等を実施している 事業継続計画(BCP)一部策定済									9		11		13 13.1			16	
42		☐ 【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】事業承継に関する検討を行っていく								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】 ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。） ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。 また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林C02吸収評価認証制度、長野県県産材C02固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）
